

## ストロー整流子を用いた水滴の浮遊

### Floating waterdrops using a straw commutator

\*高原 碧波<sup>1</sup>、安井 汐織<sup>1</sup>、佐藤 嵩也<sup>1</sup>

\*Aoba Takahara<sup>1</sup>, Yuri Yasui<sup>1</sup>, Takaya Sato<sup>1</sup>

1. 新潟県立高田高等学校

1. Niigata Prefectural Takada high school

先行研究では、ストロー整流子を用いてベニカエデの種子を浮遊させる実験を行った。同様の方法で水滴も浮かせてみようと考え、風速を上げるためにシロッコファンをブローターに変更して実験を行った。ストローの長さを変えることで風速を調整し、水滴が浮くための最適な風速はおよそ6.5~8.2m/sということが分かったが、風速の分布は測定値の誤差が大きかったため、当初の予想と大きく異なった。今後の実験では水滴をさらに長時間浮遊させるために、風速の大小とその分布を工夫する必要がある。

キーワード：気象

Keywords: Meteorology